

北門の地 宗谷からの再出発

北海道へき地・複式教育研究連盟

委員長 河田 茂

第64回全道へき地複式教育研究大会宗谷プレ大会の開催にあたり、北海道へき地・複式教育研究連盟を代表して一言ご挨拶を申し上げます。

さて、宗谷地区連盟が平成8年に道へき・複連に正式に加盟し、平成13年に宗谷地区初開催となった第50回の全道大会を開催してから13年が経ちました。次年度開催される本大会は、全道14管内による輪番通り14年ぶりの開催となりますが、この間、北海道のへき地・複式教育を取り巻く状況は大きく変わって来ています。近年の過疎化と少子高齢化の進行によるへき地・複式校の減少に歯止めが掛からず、複数の管内では、複式校が数校となり、輪番で予定されていた全道大会の開催が不可能な地域も出てきています。ここ宗谷地区が14管内輪番開催を締めくくる地区となったことは北海道のへき地複式教育の上でも大きな節目になると考えています。児童数や学校数が減ってもそこに子どもがいる限り、豊かな心をもちたくましく生きていく子どもを育てるへき地複式教育の重要性は不易です。全道的にも4番目に多い26校のへき地複式校を有する宗谷地区連盟が、道へき・複連の研究推進計画に則り、来年度の本大会に向けて、今年度プレ大会を開催していただけることに心より敬意と感謝を申し上げます次第です。

今プレ大会は、道へき・複連の第9次長期5か年計画の初年度に当たり、今年度から始まる「実践・検証期」初年として、児童数やへき地複式校の減少など北海道の現状に合った地域に根ざす魅力ある教育活動を創造・発展していくこれからの研究の方向性を決める重要な大会であります。道へき・複連としましても、この宗谷プレ大会と次年度の本大会を通して新しい実践研究体制づくりを進めていく試金石と位置づけ、本大会の成功に向け全面的に協力していきたいと考えております。

北方文化交流の玄関口となった宗谷で、『最北の風薫る宗谷の海と大地に生き未来を担う子らに 豊かな心と確かな学びを！』の大会スローガンの下、1市6町1村9校がそれぞれの特色を生かした教育実践を全道の多くの仲間に発信し、研究の輪が一層広がると共に、翌年度の本大会への道しるべとなることを心よりご祈念いたします。

結びになりますが、今プレ大会の開催に当たり、ご指導とご支援を賜りました宗谷教育局をはじめ、宗谷管内各市町村教育委員会、教育関係諸団体の方々、並びに会場校の先生方、保護者の皆様、児童生徒の皆さん、そして関係機関の皆様にご心より感謝とお礼を申し上げます。